

## 「春の訪れ、感じます」

アンジュールともの家から見える景色に、刻々と暖かい色が加わってくるようになりました。リビングにも明るく暖かい日差しが入り込むような日が増え、先月まで赤々と燃え盛っていた薪ストーブもその役目を終えるのではないかとと思われるような、とある昼下がり。「つくしがいっぱい出ていますよ。摘みに行きましょう」と突然の理事長のお誘いに、年齢 93 歳にしてなおご健勝な A さんがお供することになりました。



カツカツと杖を響かせ軽快に歩いていく A さん。目的地はすぐ隣の「この道」の脇でした。

待つこと暫し、たくさんのつくしを持ち帰った A さんは休むことなく袴取り作業を始めます。

仲良しの B さんも呼び、楽しくおしゃべりをしながらの作業です。「私、袴取るのは好きやけど食べるのは嫌い」とおっしゃる B さんに、「どしたん、卵とじにしたらおいしいのに」と A さん。そんな光景に皆さんの表情も春めいてきたように感じられます。



もちろん次の日の朝食に美味しそうなつくしの卵とじが並んだことは言うまでもありません。ごちそうさまでした。